認知症の人を地域で支援するための多様な取組

認知症総合支援事業

高齢者 / 子ども / 若者 / 地域住民 / 障害者 / 生活困窮者 / **認知症の方** / その他

認知症の方がいつまでも暮らせるまちづくり

長崎県大村市

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	99,694人
	高齢化率（R7.1月時点）	25.9%
	要介護認定率（R7.1月時点）	17.0%
	取組の予算規模（年間）	-

詳細はHP参照

https://www.city.omura.nagasaki.jp/kenko/fukushi/koresha/ninchisho/index.html

取組概要

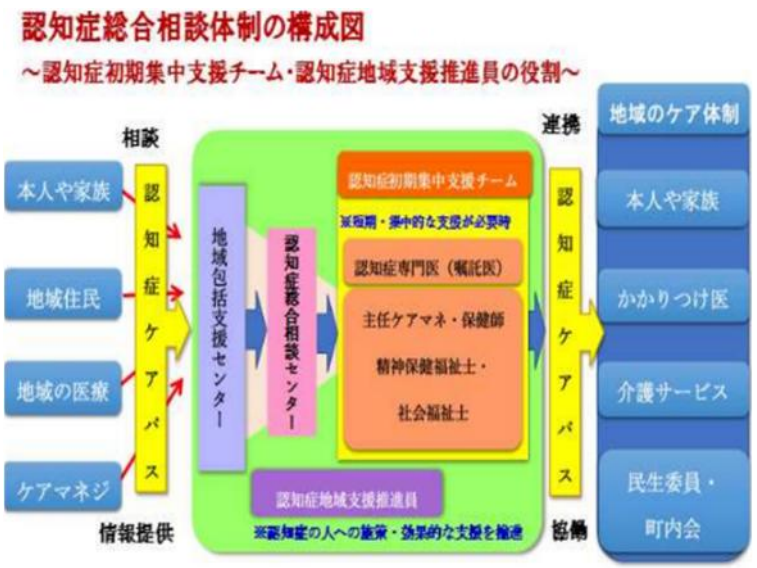
- 認知症施策全体として、切れ目のない支援を提供するための認知症総合相談体制や、認知症の人を地域で支援するための人材育成とネットワークの構築に取り組んでいる。

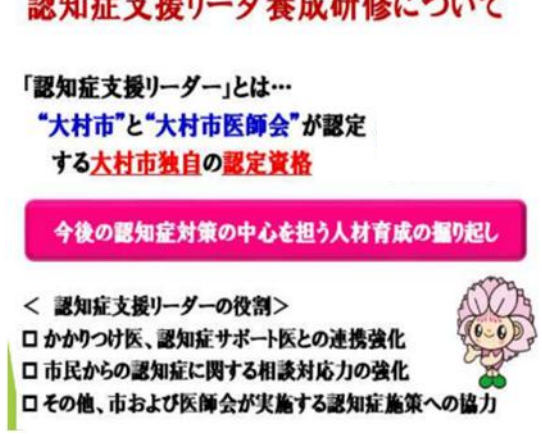
背景・きっかけ

- 高齢者の増加に伴い、認知症の高齢者の数も増加する中、認知症の人やその疑いがある人たちが、切れ目なく支援を受けることができるような体制づくりに取り組むことをねらいとした。

取組の経緯

- 地域包括支援センターの中に認知症の相談窓口（認知症総合相談センター）を設置。利用者に対する支援体制が相談に至る前から相談後まで構築され、切れ目のない支援を行うことが可能となった。
- 認知症の人を地域で支援するための人材育成として、認知症支援リーダー養成研修を開始した。
- 加えて、企業・民間団体・公共機関等と連携して見守りネットワークを構築し、地域で 認知症の方を支援する人材育成を行うことで「住み慣れた地域でみんなが支える まちづくり」を市として作り上げようとしている。





大村市認知症施策
長崎県大村市

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 認知症総合相談体制の構築
  - ✓ 人材育成（認知症支援リーダー養成）
  - ✓ 見守りネットワークの構築強化（高齢者の見守りに関する企業・民間団体・公共機関との連携強化）
  - ✓ 普及啓発（認知症サポーター養成講座推進）
  - ✓ 相談窓口（若年性認知症に関する支援、若年性認知症のつどい）など
- **実施体制**
  - ✓ 実施主体：大村市地域包括支援センター（役割：事業実施）
  - ✓ 協力団体：医療・福祉関係者、地域・企業・学校関係者等（役割：事業協力・協働）
- **経費・財源**
  - ✓ 地域支援事業

成果

- 定性面：
  - 協力体制の強化。
  - 協力団体や参加団体、参加者数が増えた。
  - 認知症に対する市民の意識変容は進み、当事者の活躍の場も増えたが、地域全体への普及や医療・介護体制との有機的な連携を強化するために、継続的な取組と地域の協力を喚起する働きかけが必要。

今後の展望

- それぞれの取組を地域の状況に応じて広げたい。

取組のポイント

- **利用者に対する切れ目のない支援体制**
  - 利用者に対する支援体制が、相談に至る前から相談後に至るまで、また多様な機関との連携や人材育成により、地域の様々な場所で構築されているため、切れ目のない支援を行うことができる。